

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	①地域安全対策の推進			
(施策の小項目)	○安全なまちづくりの推進			
主な取組	安全なまちづくり推進事業	実施計画 記載頁	119	
対応する 主な課題	○沖縄県は海域を含めると広大な行政区域を持っている上、人口や入域観光客数の増加、米軍基地から派生する諸問題等の特殊事情を抱えている。また、警察官1人あたりの110番件数が全国で最も多い。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	犯罪のない、安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指して、県内各地で取り組まれている自主防犯ボランティア団体によるちゅらさん運動を拡大、活発化させるために、犯罪情勢等の情報提供や必要な支援を積極的に行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	「ちゅらさん運動」の浸透・定着					→	県
	自主防犯ボランティア団体への支援						
	犯罪防止に配慮した環境設計の促進(防犯カメラの設置促進等)						
担当部課	警察本部生活安全部生活安全企画課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
○安全なまちづくり推進事業 ○安全・安心推進事業	26,385	25,969	<ul style="list-style-type: none"> ■防犯アドバイザー支援要員11名を採用して県内5署に配置し、通学路や学校周辺、公園、金融機関及び自転車盗・車上ねらい等犯罪の多発地域における警戒・防犯パトロールを実施 ■自主防犯ボランティア団体の効果的活動を促進するため、各団体に、防犯チョッキ、青色回転灯等の資機材を配布 ■防犯リーダー養成講座(安全安心アカデミー)を開催(1回) ■「ちゅらさん運動」の浸透・定着に向け、広報啓発用ポスター及びチラシを各3,000部作成し、市町村役場、自治会、街頭において配布 ■「ちゅらうちな一安全なまちづくり推進会議」における推進事業として「防犯カメラの設置拡充」を実施 	県単等
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—

様式1(主な取組)

推進状況	平成25年度取組の効果
順調	<p>■刑法犯認知件数は10,820件で、対前年比246件、2.2%減少し、平成15年以降11年連続で対前年比を下回っている。</p> <p>■自主防犯ボランティアについては、740団体、27,624名で、平成15年と比較し、642団体、23,593名増加している。</p>

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
<p>○安全なまちづくり推進事業</p> <p>○安全・安心推進事業</p>	27,433	<p>■犯罪情勢の分析結果に基づく、犯罪総量抑止対策の推進</p> <p>■自主防犯ボランティアに対する犯罪情勢等に関する情報提供</p> <p>■防犯アカデミー、防犯フェア等による県民の防犯意識の醸成</p> <p>■各自治体及び事業所等に対する防犯カメラの設置拡充の働きかけ</p>	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>防犯カメラの設置地域における刑法犯の発生状況等、設置効果を活用し、防犯カメラの拡充を推進した。</p>
--

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
刑法犯認知件数	12,403件 (23年)	10,820件 (25年)	11,000件 (28年)	1,583件	約132万件 (25年)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	<p>平成25年の刑法犯認知件数は10,820件で、基準値である平成23年と比較して1,583件減少し、既に平成28年の目標値を前倒しで達成している。</p> <p>この減少傾向を堅持することで、平成33年の年間10,000件以下も前倒しで達成できる見込みである。</p>				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯が順調に減少する中、万引きや自転車盗など発生件数が増加若しくは減少幅が低調な罪種がある。 ・自主防犯ボランティアについて、若年層の参加が低調である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な犯罪抑止対策に加え、発生が多く、県民が不安に感じている罪種を分析、把握する。 ・若者等を対象とした防犯ボランティアの拡充対策を推進する。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・発生件数が増加、減少幅が低調な罪種に特化した対策を執ることで、犯罪総数を減少させる。 ・高校、大学等との連携や若者をターゲットとした防犯フェア等の開催など、若年層の防犯ボランティア活動を活性化を図る。
--